

アパグループ 熊本県内で2棟、広島県内で1棟の アパホテル開発計画を発表

アパホテルネットワークとして全国最大の945ホテル133,460室(建築・設計中、海外、FC、アパ直参画ホテルを含む)を展開する総合都市開発のアパグループ(東京都港区赤坂3-2-3 CEO:元谷 一志)は、熊本県と広島県でのホテル開発計画を発表した。

アパホテル(熊本駅前)は、熊本市西区春日1-798-1他(地番)、九州新幹線・JR鹿児島本線・豊肥本線「熊本駅」より徒歩4分、敷地面積450.64㎡(公簿面積)、アパホテル(熊本下通東)は、熊本市中央区安政町8-2他(地番)、熊本市電「水道町駅」より徒歩3分、敷地面積708.25㎡(公簿面積)。熊本県には、アパホテル(熊本桜町バスターミナル南)(熊本市中央区・全118室)を運営中であるが、半導体関連企業が集積しており、交通網も整備され更なる経済発展が見込まれ、自然景観が豊富で観光スポットとしての魅力も高く、更なる需要の獲得を目指し今回2棟の計画に至った。今回の2棟の計画を併せて、熊本県内でのアパホテルは3棟・533室での計画となる。

アパホテル(広島駅前通)は、広島県広島市南区的場町1-2-24他(地番)、山陽新幹線・JR山陽本線「広島駅」地下道9番出口より徒歩3分、敷地面積587.99㎡(公簿面積)。全国での出店検討を行っている中でも、「札幌広福」「札幌市・仙台市・広島市・福岡市」は広域中心都市として注力しているエリアであることから、広島市内での3,000室展開を目指し今回の計画に至った。なお、広島市内でのアパホテルは6棟・2,428室での計画となる。

【計画概要】

ホテル名(仮称)	規模	延床面積	客室数・施設	開業予定
アパホテル(熊本駅前)	14階建	約2,490㎡	147室	2027年夏頃
アパホテル(熊本下通東)	12階建	約4,560㎡	268室	2027年冬頃
アパホテル(広島駅前通)	19階建	約6,570㎡	314室・大浴場	2027年冬頃

また、現在進めている「選択と集中」戦略に基づき、直営運営中のアパホテル(宮崎延岡駅前)(宮崎県延岡市・192室)、アパホテル(宮崎延岡中央)(宮崎県延岡市・93室)、アパホテル(山口防府)(山口県防府市・全141室)において、株式会社ティーケーピー(本社:東京都新宿区市谷八幡町8番地 代表取締役社長:河野 貴輝)が2025年6月20日からフランチャイズホテルとしての運営を行う。

今回の3棟の開発計画とフランチャイズ契約により、直営ホテルは303室の増加、フランチャイズホテルは426室の増加となる。

【アパグループ】

アパホテルネットワークとして全国最大の945ホテル133,460室(建築・設計中、海外、FC、アパ直参画ホテルを含む)を展開している。2010年4月にスタートした「SUMMIT 5(頂上戦略)」を継承し、2022年4月より新たな5ヶ年計画「AIM5 ~APA Innovative Movement」を始動。アフターコロナにおけるニーズの変化やDX化の波を捉えながら、国内で圧倒的なNo.1ホテルチェーンとなるべく、2027年3月末までにアパホテルネットワークとして15万室展開を目指す。

■お問い合わせ先 ※写真データ等必要な場合はメールにて送信します。

アパグループ東京本社 社長室

住所: 東京都港区赤坂3-2-6

電話: 03-5570-2131

E-Mail: kouhou@apa.co.jp URL: www.apa.co.jp